

意見書様式

資料5

(新たな振興計画(素案)に対する意見)

議題(2) 希望と活力にあふれる「スポーツアイランド沖縄」の形成

部会名:文化観光スポーツ部会

番号	章	頁	行	新たな振興計画(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	県の考え方	委員 専門委員
1	4	128	11	□ スポーツが持つ言語を超えたコミュニケーションは、人と人、地域と地域の交流を活性化させ、地域の一体感や潜在的な活力を向上させる可能性を有する。また、日々のスポーツを通じた健康増進は、免疫力を高め、ひいてはあらゆる感染症への抵抗力を強めていき、県全体の「健康・長寿」につながるものである。	—	振り返りで議論されたことを踏まえて、観光経済の面と県民のスポーツ促進の両面が整理されてわかりやすくなったと感じました。しかしながらこの序文の部分でもう少し明確に分けて書き込んで良かったかと思いました。「スポーツアイランド沖縄」には側面が二つあるという事と、その両面が重なる部分を書き込むのも良いのではないのでしょうか？ あと、「スポーツが心身の健康とともに明るく豊かな社会づくりに寄与する」という事を11行目あたりからの文中に入れて欲しいと思いました。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 (修正文案) また、日々のスポーツを通じた健康増進は、免疫力を高め、ひいてはあらゆる感染症への抵抗力を強めることはもとより、心身を健康に保ち明るく豊かな社会づくりに寄与するものである。	前田専門委員
2	4	128	15	□ 本県の亜熱帯・海洋性の地域特性を生かし、スポーツを通じた地域経済の活性化、競技力の向上及び社会課題の解決等を推進することで、本県におけるスポーツの経済的価値や社会的価値を向上させ、希望と活力にあふれる「スポーツアイランド沖縄」の形成を目指す。				
3	4	128	19	□ 世界中から多くの人を呼び込むスポーツコンベンションの推進や、プロスポーツチーム等のスポーツ資源を活用した地域振興の促進とともに、県民等のスポーツ参画の促進が課題である。				
4	4	128	32	□ このため、スポーツ関連産業の振興と地域の活性化、県民が主体的に参画するスポーツ環境の整備に取り組む。				
5	4	128	11	□ スポーツが持つ言語を超えたコミュニケーションは、人と人、地域と地域の交流を活性化させ、地域の一体感や潜在的な活力を向上させる可能性を有する。また、日々のスポーツを通じた健康増進は、免疫力を高め、ひいてはあらゆる感染症への抵抗力を強めていき、県全体の「健康・長寿」につながるものである。	□ スポーツが持つ言語を超えたコミュニケーションは、人と人、地域と地域の交流を活性化させ、地域の一体感や潜在的な活力を向上させる可能性を有する。また、日々のスポーツを通じた健康増進は、免疫力を高め、ひいてはあらゆる感染症への抵抗力を強めていき、県全体の「健康・長寿」につながるものである。スポーツを通じて一人取り残さない健康な社会の実現、スポーツを通じた国際貢献(世界平和への貢献)・交流の推進に取り組む必要がある。	振り返りで議論されたことを踏まえて、観光経済の面と県民のスポーツ促進の両面が整理されてわかりやすくなったと感じました。しかしながらこの序文の部分でもう少し明確に分けて書き込んで良かったかと思いました。「スポーツアイランド沖縄」には側面が二つあるという事と、その両面が重なる部分を書き込むのも良いのではないのでしょうか？ あと、「スポーツが心身の健康とともに明るく豊かな社会づくりに寄与する」という事を11行目あたりからの文中に入れて欲しいと思いました。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 (修正文案) スポーツが持つ言語を超えたコミュニケーションは、人と人、地域と地域の交流を活性化させ、地域の一体感や潜在的な活力を向上させる可能性を有するとともに、スポーツを通じた国際貢献、課題解決といったSDP(Sport for development and Peace)の推進にもつながるものである。 ※SDP・・・開発と平和のためのスポーツ	倉科専門委員

意見書様式

資料5

(新たな振興計画(素案)に対する意見)

議題(2) 希望と活力にあふれる「スポーツアイランド沖縄」の形成

部会名:文化観光スポーツ部会

番号	章	頁	行	新たな振興計画(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	県の考え方	委員 専門委員
6	4	128	19	□ 世界中から多くの人を呼び込むスポーツコンベンションの推進や、プロスポーツチーム等のスポーツ資源を活用した地域振興の促進とともに、 <u>県民等のスポーツ参画の促進が課題である。</u>	□ 世界中から多くの人を呼び込むスポーツコンベンションの推進や、プロスポーツチーム等のスポーツ資源を活用した地域振興の促進とともに、 <u>県民等のスポーツ参画意識の向上が課題である。</u>	P130の1行目の記載表現のほうが適切と思い、統一しました	【原文のとおり】 当該箇所における「スポーツ参画の促進」は「参画意識の向上」を含めておりますので、素案における文案どおりとしたいと思います。	JATA 與座嘉博 専門委員
7	4	128	26	□ 野球やサッカー等のキャンプ・大会の誘致など、温暖な気候や既存のインフラを生かしたスポーツツーリズムが推進されていることを踏まえ、さらに多様な種目や選手のニーズに対応する施設・設備等の整備を進めるとともに、 <u>野球のキャンプ地訪問観光や、サッカー、バスケットボール等の地元チームを活用した観光の推進を図り、県民と観光客が一体となって楽しめる観光を促進する必要がある。</u>	□ 野球やサッカー等のキャンプ・大会の誘致など、温暖な気候や既存のインフラを生かしたスポーツツーリズムが推進されていることを踏まえ、さらに多様な種目や選手のニーズに対応する施設・設備等の整備を進めるとともに、 <u>野球のキャンプ地訪問観光や、サッカー、バスケットボール、ハンドボール等の地元チームを活用した観光の推進を図り、県民と観光客が一体となって楽しめる観光を促進する必要がある。</u>	コラソンもキングス、FC琉球と同様の地域密着度や歴史も持っているので、併記してあげるべき。	【委員意見を踏まえ修正】 左案のとおり修正する。	JATA 與座嘉博 専門委員
8	4	128	26	□ 野球やサッカー等のキャンプ・大会の誘致など、温暖な気候や既存のインフラを生かしたスポーツツーリズムが推進されていることを踏まえ、さらに多様な種目や選手のニーズに対応する施設・設備等の整備を進めるとともに、 <u>野球のキャンプ地訪問観光や、サッカー、バスケットボール等の地元チームを活用した観光の推進を図り、県民と観光客が一体となって楽しめる観光を促進する必要がある。</u>	□ 野球、サッカー、空手等のキャンプ・大会の誘致	世界に於いて、沖縄の伝統空手の愛好者より本土系の空手・競技空手・スポーツ空手の愛好者が明らかに多い。また、海外でほぼ毎週末や夏休みなどにかけてセミナーや合宿が行われています。魅力的である「空手発祥の地」での開催をヒントに、また、彼らがやる空手を尊重し、このマーケットの皆さんへ積極的にアプローチ・誘致するべきと思います。	【委員意見を踏まえ修正】 左案のとおり修正する。	ダルーズ 専門委員

意見書様式
(新たな振興計画(素案)に対する意見)

資料5

議題(2) 希望と活力にあふれる「スポーツアイランド沖縄」の形成

部会名:文化観光スポーツ部会

番号	章	頁	行	新たな振興計画(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	県の考え方	委員 専門委員
9	4	128	26	□ 野球やサッカー等のキャンプ・大会の誘致など、温暖な気候や既存のインフラを生かしたスポーツツーリズムが推進されていることを踏まえ、さらに多様な種目や選手のニーズに対応する施設・設備等の整備を進めるとともに、野球のキャンプ地訪問観光や、サッカー、バスケットボール等の地元チームを活用した観光の推進を図り、県民と観光客が一体となって楽しめる観光を促進する必要がある。	・・・サッカー、バスケットボール等の地元チームを活用した観光の推進を図り、県民と観光客が一体となって楽しめるスポーツ×観光×文化を盛り込んだコンテンツを開発する必要がある。	漠然と「観光を促進する」と表現するのではなく、より具体的に、スポーツ×文化×観光を統合したコンテンツ開発に言及したほうが、具体的なイメージを掴みやすいのではないのでしょうか。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 (修正文案) 野球、サッカー、空手等のキャンプ・大会の誘致など、温暖な気候や既存のインフラを生かしたスポーツツーリズムが推進されていることを踏まえ、さらに多様な種目や選手のニーズに対応する施設・設備等の整備を進めるとともに、野球等のキャンプ地訪問観光や、サッカー、バスケットボール、ハンドボール等の地元チームを活用したイベントやスポーツツーリズムの促進を図り、県民と観光客が一体となって楽しめるスポーツ×観光・健康等といった沖縄のソフトパワー活用を盛り込んだコンテンツの開発を促進する。	原田専門委員
10	4	128	26	□ 野球やサッカー等のキャンプ・大会の誘致など、温暖な気候や既存のインフラを生かしたスポーツツーリズムが推進されていることを踏まえ、さらに多様な種目や選手のニーズに対応する施設・設備等の整備を進めるとともに、野球のキャンプ地訪問観光や、サッカー、バスケットボール等の地元チームを活用した観光の推進を図り、県民と観光客が一体となって楽しめる観光を促進する必要がある。	□ 野球やサッカー等のキャンプ・大会の誘致など、温暖な気候や既存のインフラを生かしたスポーツツーリズムが推進されていることを踏まえ、さらに多様な種目や選手のニーズに対応する施設・設備等の整備を進めるとともに、野球のキャンプ地訪問観光や、サッカー、バスケットボール等の地元チームを活用したイベントやファンミーティングの開催などの推進を図り、県民と観光客が一体となって楽しめるスポーツ観光を促進する必要がある。	「観光」という言葉の使い方を、この章では意識して変えたほうが良いと思います。通常の観光施設や見どころを訪れる観光と、スポーツを素材にした誘客を「スポーツ観光」と呼ぶことでターゲットや目的がはっきりするのではないかと思います。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 (修正文案) 野球、サッカー、空手等のキャンプ・大会の誘致など、温暖な気候や既存のインフラを生かしたスポーツツーリズムが推進されていることを踏まえ、さらに多様な種目や選手のニーズに対応する施設・設備等の整備を進めるとともに、野球等のキャンプ地訪問観光や、サッカー、バスケットボール、ハンドボール等の地元チームを活用したイベントやスポーツツーリズムの促進を図り、県民と観光客が一体となって楽しめるスポーツ×観光・健康等といった沖縄のソフトパワー活用を盛り込んだコンテンツの開発を促進する。	前田専門委員
11	4	128	32	□ 本県の地理的・自然的条件とスポーツ資源を有効に活用し、スポーツ交流拠点としての国際的なブランド力の向上と既存産業の連携強化によるスポーツを核とした新産業の創出、スポーツを活用したまちづくりに向け、次に掲げる施策を推進する。	—	スポーツ交流拠点としての国際的なブランド力を持つためには、戦略的に種目を決め打ちしたり、それに伴うエリア開発を目指す方が良いかと思います。海をアピールするマリンスポーツ(ウィンドサーフィン、ヨットは内海のあるエリアで戦略的に進める)とか、スケートボードに積極的な地域があればそれを促進するとか。	【原文のとおり】 ご指摘を踏まえ、来年度に改定を予定している個別計画(スポーツ推進計画)にて検討を進めたいと考えております。	前田専門委員

意見書様式

資料5

(新たな振興計画(素案)に対する意見)

議題(2) 希望と活力にあふれる「スポーツアイランド沖縄」の形成

部会名:文化観光スポーツ部会

番号	章	頁	行	新たな振興計画(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	県の考え方	委員 専門委員
12	4	129	5	□ 各種スポーツキャンプやスポーツイベント、競技大会等のスポーツコンベンションの誘致・開催に取り組む。	—	スポーツコミッション沖縄の存在と役割を明記した方が良いと思います。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 (修正文案) 各スポーツコンベンションの誘致・受入を推進する市町村やスポーツコミッション沖縄等と連携し、各種スポーツキャンプやスポーツイベント、競技大会等のスポーツコンベンションの誘致・開催に取り組む。	前田専門委員
13	4	129	7	□ スポーツコンベンション開催等により訪れる選手や観光客は、本県の地域特性を生かせる高付加価値で長期滞在型の観光であり、沖縄観光の課題である「閑散期と繁忙期の平準化」に大きく貢献することから、積極的にスポーツツーリズムを推進するとともに、本県の魅力的なスポーツ環境を周知する積極的なプロモーション活動に取り組む。	□ スポーツコンベンション開催等により訪れる選手や、その見学や応援に訪れる人々は、本県の地域特性を生かせる高付加価値で長期滞在型の観光客と言え換える事も出来る。沖縄観光の課題である「閑散期と繁忙期の平準化」と「消費額の増加」に大きく貢献することから、積極的にスポーツツーリズムを推進するとともに、本県の魅力的なスポーツ環境を周知する積極的なプロモーション活動と環境整備に取り組む。	(128ページ26行目の理由と同様) 「観光」という言葉の使い方を、この章では意識して変えたほうが良いと思います。通常の観光施設や見どころを訪れる観光と、スポーツを素材にした誘客を「スポーツ観光」と呼ぶことでターゲットや目的がはっきりするのではないかと思います。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 (修正文案) スポーツコンベンションの促進は沖縄観光の課題である「閑散期と繁忙期の平準化」や、長期滞在傾向等による経済効果の増大に貢献することから、本県の魅力的なスポーツ環境のプロモーションを積極的に展開するとともに、高付加価値コンテンツの造成や環境整備に取り組む。	前田専門委員
14	4	129	7	□ スポーツコンベンション開催等により訪れる選手や観光客は、本県の地域特性を生かせる高付加価値で長期滞在型の観光であり、沖縄観光の課題である「閑散期と繁忙期の平準化」に大きく貢献することから、積極的にスポーツツーリズムを推進するとともに、本県の魅力的なスポーツ環境を周知する積極的なプロモーション活動に取り組む。	①表現の再検討 ②積極的にスポーツコンベンションを推進	①高付加価値型という表現の根拠が明確ではないため表現の再検討をお願いしたい ②素案の本文は「スポーツコンベンション」がテーマですので「積極的にスポーツツーリズムを推進」ではなく、「積極的にスポーツコンベンションを推進」に修正して頂きたい。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 (修正文案) スポーツコンベンションの促進は沖縄観光の課題である「閑散期と繁忙期の平準化」や、長期滞在傾向等による経済効果の増大に貢献することから、本県の魅力的なスポーツ環境のプロモーションを積極的に展開するとともに、高付加価値コンテンツの造成や環境整備に取り組む。	OCVB 下地会長
15	4	129	21	□ スポーツは、人々に精神的豊かさをもたらすとともに、新産業の創出に向けて活用すべき地域資源として有望とされており、健康づくり・リハビリテーション、ものづくり、ICT等の既存産業等との連携を強化し、県内企業等が新たなスポーツ関連事業を創出しやすい環境づくりに取り組む。	□ スポーツは、新産業の創出に向けて活用すべき地域資源として有望とされており、健康づくり・リハビリテーション、ものづくり、ICT等の既存産業等との連携を強化し、県内企業等が新たなスポーツ関連事業を創出しやすい環境づくりに取り組む。	「精神的豊かさをもたらす」ことを併記する必要性を感じません。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 (修正文案) スポーツは、新産業の創出に向けて活用すべき地域資源として有望とされていることから、健康づくり・リハビリテーション、ものづくり、ICT等の既存産業等との連携を強化し、県内企業等が新たなスポーツ関連事業を創出しやすい環境づくりに取り組むとともに、スポーツ関連産業の展示会開催・誘致等に取り組む。	JATA 與座嘉博 専門委員

意見書様式
(新たな振興計画(素案)に対する意見)

資料5

議題(2) 希望と活力にあふれる「スポーツアイランド沖縄」の形成

部会名:文化観光スポーツ部会

番号	章	頁	行	新たな振興計画(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	県の考え方	委員 専門委員
16	4	129	21	□ スポーツは、人々に精神的豊かさをもたらすとともに、新産業の創出に向けて利活用すべき地域資源として有望とされており、健康づくり・リハビリテーション、ものづくり、ICT等の既存産業等との連携を強化し、県内企業等が新たなスポーツ関連事業を創出しやすい環境づくりに取り組む。	スポーツ関連事業を創出しやすい環境づくりに取り組むとともに、 <u>スポーツ関連産業の展示会開催・誘致に取り組む</u>	新たなスポーツ関連事業の創出=健康・ウェルネス・スポーツ・食などの関連産業分野の展示会誘致・開催などについても記述する必要があるのではないか。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 (修正文案) スポーツは、新産業の創出に向けて利活用すべき地域資源として有望とされていることから、健康づくり・リハビリテーション、ものづくり、ICT等の既存産業等との連携を強化し、県内企業等が新たなスポーツ関連事業を創出しやすい環境づくりに取り組むとともに、 <u>スポーツ関連産業の展示会開催・誘致等に取り組む。</u>	委員 専門委員 OCVB 下地会長
17	4	129	25	□ 持続的な県内スポーツ関連産業の発展のため、スポーツ関連人材の育成に取り組む。	—	どのように人材育成を行うか、教育機関の設置等の具体的な方策が必要だと考えます。 これまで座長として沖縄発のスポーツ産業育成の補助事業に取り組んできましたが、成果が上がらず、事業自体が凍結されています。その背景のひとつに人材不足があります。これを解決するのが教育機関の設置であると考えます。	【原文のとおり】 今後の10年においてスポーツ関連人材の育成は大きな課題と考えており、大学や関連団体と連携した方策など様々な方法を検討して参ります。	原田専門委員
18	4	129	29	□ アリーナ・スタジアム及び県内プロスポーツチーム等の地域資源を活用したまちづくりを進めるとともに、スポーツ関連団体やアスリート等の参画による多様な社会課題の解決を促進する。	—	まちづくりとは、さらに良い生活が送れるように、道路や街並み、景観といったハード部分と、歴史文化、芸術、スポーツ等のソフト両面から改善を図ろうとするプロセスですが、ハード部分の記述がないのが気になります。歩道の拡幅や自転車専用道の整備など、日常生活に密着したインフラ整備の記述が必要で、以下のイー①とも関連します。	【原文のとおり】 ご指摘のとおり、まちづくりにおいてはハード面の整備が必要となることもありますが、各取組により、整備すべき内容が異なるためこのような表記としております。 なお、自転車通行空間(ブルーライン、矢羽根型路面表示など)の整備や歩道の拡幅については①P34・6行目②P80・33行目③P147・22行目に盛り込まれているところです。	原田専門委員
19	4	129	32	□ 本県の魅力を活用し、開催地周辺の地域経済を活性化させる国際競技大会や大規模スポーツイベントを市町村及び関係団体と連携し、誘致に取り組む。	—	スポーツコミッション沖縄の存在や役割については明記した方が良いと思います。また、各種目のフォローやケアが出来るコーディネーターの必要性を感じています。	【原文のとおり】 P129.5行目にてスポーツコミッションの存在、役割を明記したいと思います。 コーディネーターの育成については、重要課題と考えており、実施事業の中で対応することを検討して参ります。	前田専門委員

意見書様式

資料5

(新たな振興計画(案)に対する意見)

議題(2) 希望と活力にあふれる「スポーツアイランド沖縄」の形成

部会名:文化観光スポーツ部会

番号	章	頁	行	新たな振興計画(案)本文	意見(修正文案等)	理由等	県の考え方	委員 専門委員
20	4	130	6	□ 本県のスポーツ振興は、県民等の主体的なスポーツ参画が重要であることから、青少年から高齢者まで幅広い世代におけるスポーツ文化を醸成するとともに、県内トップアスリートの競技力向上や県民の積極的なスポーツへの参画に向けて、次に掲げる施策を推進する。	県内トップアスリートの競技力向上や、 <u>県民の積極的なスポーツへの参画やアクティブライフの振興</u> に向けて、次に掲げる施策を推進する。	ニューノーマルの時代は、スポーツだけの振興だけではなく、住民がいかいかにアクティブな生活を楽しむかが課題になります。その意味で「アクティブライフ」を施策の中に取り込むことが重要だと考えます。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 県内トップアスリートの競技力向上や、県民の積極的なスポーツへの参画、 <u>主体的、活動的、健康的な生き方であるアクティブライフの推進</u> に向けて、次に掲げる施策を推進する。	原田専門委員
21	4	130	12	□ 各種スポーツコンベンションに対応した施設の整備・充実に取り組む。	□ 各種スポーツコンベンションに対応した施設の整備・充実に取り組み、 <u>その維持・管理を行う責任の所在も明確にする。</u>	芝んちゅ事業のような事を継続していただきたいと思います。	【原文のとおり】 「芝人事業」については、サッカーキャンプ誘致などにおいてその重要性を認識しており、今後の取り組みについては、市町村を通じた実施なども含め検討して参ります。	前田専門委員
22	4	130	24	□ 県外チームの招待や県外での強化試合の推進、コーチ等の招聘、優秀な指導者の養成・確保、競技団体及び中体連・高体連と連携した少年種別の継続した強化支援等により、競技力の向上やトップアスリートの育成に取り組む。	—	このあたりは教育と関わってくるのが気になります。(部活の行き過ぎた指導問題など) 宿泊・飲食・付随する観光についてはスポーツコミッション沖縄のコーディネート力を高める事が必要と思います。	【原文のとおり】 部活動のあり方については県教育庁において検討がなされており、今後の施策展開なども含め注視しているところです。 スポーツコミッション沖縄における機能の充実については、今後スポーツ協会とも連携して取り組んで参ります。	前田専門委員

意見書様式

(新たな振興計画(素案)に対する意見)

資料5

議題(3) 沖縄を結び目とするグローバルな交流ネットワークの形成

部会名:文化観光スポーツ部会

番号	章	頁	行	新たな振興計画(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	県の考え方	委員 専門委員
23	4	151	16	□ 東アジアの中心に位置する地理的特性、自然的特性、独自の歴史的・文化的特性等を生かし、観光・経済・文化など様々な分野における多元的交流の推進を通して、沖縄を結び目とするグローバルな交流ネットワークの形成を目指す。	観光・経済・文化・空手など様々な分野における	90カ国以上に存在する沖縄空手の支部のネットワークをここに記載ある「交流ネットワーク」に明確に含めるべきと考えます。	【原案のとおり】 伝統的な沖縄空手は、「文化」に包含されるため、当該箇所において、「空手」を例示に加えることは適当でないと考えております。(空手振興課)	ダルーズ 専門委員
24	4	152	8	□ 国内外に広がるウチナーネットワークを次世代へ安定的に継承するため、独立行政法人国際協力機構(以下、「JICA」)等と連携し、育成人材等を対象とするオンラインを活用した相互交流やWEB・SNS等による情報発信、県系人のルーツ調査をはじめとする歴史継承等を多言語で担うプラットフォームの構築に取り組む。	—	本項目では、独立行政法人国際協力機構(以下、「JICA」)と、153ページ2行目では、独立行政法人国際協力機構沖縄センターとされていますが、使い分けの意味があればご教示ください。特にないようであれば独立行政法人国際協力機構沖縄センター(もしくはJICA沖縄)で統一いただければと思います。	【原案のとおり】 ご承知のとおり、沖縄振興特別措置法第87条において、JICAが沖縄の国際協力の推進に資するよう努めると規定されております。また、平成25年に沖縄県と独立行政法人国際協力機構(JICA)は連携協定を締結し、双方が実施する国際交流事業への協力など、連携協力を行っているところです。 上記の理由から、当該箇所においては「JICA」等との連携、としておりますが、P153の2行目の「おきなわ国際協力・交流フェスティバル」はJICA沖縄が主催と承知しておりますので、そのように記載しております。 なお、素案の152ページ8行目に記載のプラットフォームについては、JICA沖縄と連携し、JICA沖縄の執務室内に「ウチナーネットワークコンシェルジュ」として設置しておりますが、移民資料調査等についてJICA海外事務所やJICA横浜(海外移住資料館)等と連携を図っていく考えです。	倉科専門委員
25	4	152	23	□ 国籍や民族に関係なく誰もが安心して暮らせる環境づくりを推進し、国際交流拠点にふさわしい多文化共生社会の形成に向けた、次に掲げる施策を推進する。	—	外国人材の受入れ・共生に関する関係閣僚会議による「外国人材の受入れ・共生のための総合的対策案(令和3年度)」において、「地域における多文化共生の取り組みの促進・支援」として「JICAとの連携による地方自治体やNPO等の共生社会の構築に向けた取り組みの推進」が施策としてあげられており、弊機構も積極的に取り組む予定です。	—	倉科専門委員

意見書様式

(新たな振興計画(素案)に対する意見)

議題(3) 沖縄を結び目とするグローバルな交流ネットワークの形成

部会名:文化観光スポーツ部会

番号	章	頁	行	新たな振興計画(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	県の考え方	委員 専門委員
26	4	152	23	□ 国籍や民族に関係なく誰もが安心して暮らせる環境づくりを推進し、国際交流拠点にふさわしい多文化共生社会の形成に向けた、次に掲げる施策を推進する。	□ 国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に暮らせる環境づくりを推進し、国際交流拠点にふさわしい多文化共生社会の形成に向けた、次に掲げる施策を推進する。	総務省によると、多文化共生は、「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと」と定義されている。	【委員意見を踏まえ修正】 左案のとおり修正する。	沖縄県国際交流・人材育成財団 與座博好 専門委員
27	4	153	2	□ 市町村や関係団体と連携した県民向けのシンポジウムの開催や独立行政法人国際協力機構沖縄センター主催のおきなわ国際協力・交流フェスティバルへの参画を通じ、県民が文化・教育等の相互交流を通してお互いの文化や習慣を理解し合うための環境づくりに取り組む。	—	県民の異文化理解・国際理解の促進にかかる活動は県国際交流・人材育成財団や地域の国際交流協会等で各種行われていますが、成果指標はおきなわ国際協力・交流フェスティバルの参加者数だけでよいのか疑問です。	【原案のとおり】 成果指標については、各施策につき一つ設定することとしております。 おきなわ国際協力・交流フェスティバルは、県内随一の規模を誇る交流フェスティバルであり、国際協力・交流関連団体や学校等によるブース展示、参加型ワークショップ等を実施しており、県民の異文化・国際理解を促進する最大規模の場となっております。 本イベント参加者が増えることで、県民の異文化理解・国際理解につながる最適な指標と考えております。	倉科専門委員
28	4	153	15	□ 東アジアの中心に位置する地理的特性、自然的特性、独自の歴史的・文化的特性等を生かし、学術・文化・友好親善など様々な分野での国際交流を推進するため、福建省との友好県省やハワイ等との姉妹提携等の交流を促進し、また、海外との新たなMOU(覚書)締結など地域間交流を促進する。	□ 東アジアの中心に位置する地理的特性、自然的特性、独自の歴史的・文化的特性等を生かし、学術・文化・友好親善など様々な分野での国際交流を推進するため、福建省との友好県省やハワイ等との姉妹提携等の交流を促進し、また、海外の国や都市、地域などとの新たなMOU(覚書)締結など地域間交流を促進する。	表記内容の理解を深めるために追記した方が良いと思いました	【原案のとおり】 文末の「地域間交流」に包含されるため、元の文章のまましたいと思います。 なお、県として、海外の交流先(MOU(覚書)などの締結先)は、都市や地域と考えられるため、「国」は該当しないものと考えます。	JATA 與座嘉博 専門委員

意見書様式

資料5

(新たな振興計画(素案)に対する意見)

議題(3) 沖縄を結び目とするグローバルな交流ネットワークの形成

部会名:文化観光スポーツ部会

番号	章	頁	行	新たな振興計画(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	県の考え方	委員 専門委員
29	4	152	28	<p>□ 地域や公益財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団等と連携し、多言語ややさしい日本語による情報発信、在住外国人の地域社会参画への支援、沖縄での生活に関する各種相談の実施のほか、医療通訳ボランティアや災害時に備えた外国人支援サポーターの育成など、外国人が安心して生活及び滞在ができる環境づくりに取り組む。</p>	<p>(前段に追加) □ <u>互いの文化的ちがいを認め合い、それぞれが共に地域社会を支える主体として、その能力を十分に発揮しながら、イチャリバチャョーデーの心で、外国人も県民も安心して暮らせる地域づくりに取り組む。</u></p> <p>□ 地域や公益財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団等と連携し、(以下略)</p>	<p>□ 「おきなわ多文化共生推進指針」(第4章基本的な考え方 1基本理念)より</p>	<p>【委員意見を踏まえ修正】 左案のとおり修正する。</p>	<p>沖縄県国際交流・人材育成財団 與座博好 専門委員</p>
30	4	153	2	<p>□ 市町村や関係団体と連携した県民向けのシンポジウムの開催や独立行政法人国際協力機構沖縄センター主催のおきなわ国際協力・交流フェスティバルへの参画を通じ、県民が文化・教育等の相互交流を通してお互いの文化や習慣を理解し合うための環境づくりに取り組む。</p>	<p>□ 市町村や関係団体と連携した県民向けのシンポジウムの開催や(以下略)</p> <p>(後段に追加) □ <u>県内に在住する外国人に、国際交流・国際親善、日本・沖縄の社会や文化について日本語で意見を発表する場を提供し、共生社会のあり方を互いに考え合う機会をつくりだすことにより、県民の異文化理解・国際理解の促進に取り組む。</u></p>	<p>□ (追加)沖縄県国際交流・人材育成財団では、「外国人による日本語弁論大会」を毎年実施している。</p>	<p>【委員意見を踏まえ修正】 左案のとおり修正する。</p>	<p>沖縄県国際交流・人材育成財団 與座博好 専門委員</p>